

表紙

	意見	反映の有無	対応・考え方
No 1	下部の枠内、1行目、一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)と括弧が必要では？	○	ご指摘のとおり、一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)と括弧を追記します。
No 2	もう少し鮮明になりますか？(写真)	○	表紙については、わかりやすくイメージできるようにしたいと考えています。

今、越谷のごみはどうなっているの？

No 3	「前計画の目標と達成状況」の枠内の数字がゴシックで太すぎるため、返って見難い感じがします。	○	HGS創英角ポップ体 → UDデジタル教科書体NP-Bに修正します。
No 4	さらにごみの減量・リサイクルを1人、1人が意識し、継続しなくてはと思います。	—	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

基本計画の柱(理念・方針)

No 5	ごみ袋のイラスト 資源ゴミを資源品か資源物として、そろそろ資源ゴミという言い方を変更していった方がいいのでは。	○	「資源ゴミ」を「資源物」に修正します。
No 6	方針1で、SDGsが半角(最初)と全角(1-4)になっている→統一？ SDGsの説明は不要？	○	全角に統一します。

10年後の目標

No 7	中間目標があるなら、小さくイラストを追加。	○	中間目標として、数字を追記します。
No 8	食品ロスのイラストを追加=廃棄物に見える。	○	イラストを差し替えます。
No 9	表紙には(令和3年度～令和12年度)となっており、ここでは西暦年度になっている。 両方がわかるような方法があればいいが…	○	西暦、和暦の両方を記載します。
No 10	本当にこの表の様に、色々削減出来るのか心配もあります。 次世代の人達に、ぜひ引き継いで欲しい。	—	いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。また、市民・事業者・行政が連携・協力し目標を達成できるように取り組んでまいります。

目標に向けて市民のアクション！

No 11	“て”が良いのか、“た”が良いのか。私だったら“た”かな…それか、スペースを入れるか…事業者も同様。	○	「目標に向けた市民のアクション！」へと修正します。
No 12	雑紙(ざつがみ)をリサイクルしよう！ ・資源ごみ ごみを削除	○	資源ごみ → 資源物 へと修正
No 13	その他生活で(パート1) ・修理して大切に長く使おう！	○	修理して使用しよう！ → 修理して大切に長く使おう！ へと修正します。
No 14	その他生活で(パート2) ・フードドライブの活用を！ ・問題点について意識して、行動しよう！	○	・フードドライブを活用しよう！ → フードドライブの活用を！ ・問題点について意識しよう！ → 問題点について意識して、行動しよう！ に修正します。
No 15	越谷にも外国からの移住者が増えている折、分別ごみの意義をよく理解できる様、指導、説明が必要かと。	—	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
No 16	文章中の「生ごみは生ごみ処理機で処理したり…」この生ごみ処理機は、確かに買えば揃えられますが、費用が掛かります。簡単に水切りできるような説明が良いのでは？例えば、流しの隅においてあるごみ仮入れ用プラスチック製三角型の器に入れ、ごみ出し時、上から拳や硬いもので押し水切りをする。或いは、小さいポリ袋に入れ、水切りをする等。	○	簡単に水切りできる説明及びイラストに変更します。

目標に向けて事業者のアクション！

No 17	“て”が良いのか、“た”が良いのか。私だったら“た”かな・・・それか、スペースを入れるか・・・事業者も同様。	○	「目標に向けた事業者のアクション！」へと修正します。
No 18	◆消費者に対し、店内や店頭で、食品ロスの削減について、呼びかけよう！ ⇒安いからと言って買いすぎないようにしよう！・・・なぜ、リサイクルのことは書いていないのか？水切りのことは書いていないのか？事業系ごみの水切りは生活系ごみよりも重要なはず！パッカー車を見ていたらわかるはず。	○	下記のとおり、追記します。 ・食品の生産、加工段階などでの生ごみは水分を切り減量しよう！ ・食品の加工くず、売れ残り品などは、生ごみ処理機の導入や、再生利用事業者へ搬入し、堆肥化や飼料化をしよう！
No 19	管理及び意識向上のポイント ・定期的に把握し、計量してみよう！	○	定期的に把握しよう！ → 定期的に把握し、軽量してみよう！ に修正
No 20	◆ダイレクトメールは必要最小限にしよう！???ダイレクトメールを出すことを？印刷量を？両方とも？それよりも、余ったダイレクトメールは紙ごみでリサイクルなのでは？	○	下記のとおり、修正します。 ・ダイレクトメールの印刷量は必要最小限にしよう！また、余ったダイレクトメールは古紙類としてリサイクルしよう！
No 21	やる気アップ ・意識と行動の変革！	○	意識啓発 → 意識と行動の変革！ へと修正
No 22	「やる気アップ」の3段階の各枠内の最初の文は字が小さく読みにく。地の色も少し濃いので黒の字が読みにくい	○	3段階の各枠内の最初の文字 10.5pt → 13pt 地の色を薄い水色に変更

対応すべきこれからの課題は？

No 23	課題1:最後の行 取り組んでいく必要～ こと削除	○	文章を下記のとおり修正します。 「ごみの減量・資源化に取り組んでいく必要があります。」
No 24	課題1の中の最後の文は、修正が必要。「さらなるごみの減量・資源化に取り組んでいくことが必要であります。」ことが必要です。あるいは、行く必要があります。		
No 25	本当は、もっと関心を持とう！なのでは。	○	いただきましたご意見をもとに、関心を持っていただくように下記の文言を追記します。 「これらの課題は他人ごとではありません。自分ごととして意識し、行動しよう！」
No 26	実際にごみ収集に携わっている方の生の声をお聞きしたい。いろいろな現場を見ての感想など。	—	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

裏表紙(一人ひとりの意識と行動が「持続可能な資源循環のまち こしがや」を実現します！

No 27	「MOTTAINAI」の精神で と記載がありますが、その上にカタカナで、モッタイナイと振り仮名か、同じ文字での記入があると、英文字がちゃんと読めるかと思いました。	○	ご提案のとおり、カタカナで「MOTTAINAI」の上にフリガナを追記します。
No 28	「持続可能な開発目標」SDGsとありますが、そのSDGsは、分かる人は分かると思いますが、一般市民は何のことだか分からない人が多いと思いますので、どこかにSDGsの意味・内容を書かれた方が良くと思います。これは、基本計画にも出てきますので、どこかに説明書きが必要ではないでしょうか。	○	下記のとおり、最後の一文を削除し、削除したスペースにSDGsの説明書きを追記します。
No 29	SDGsの吹き出しの中の、最後の文は必要でしょうか？「また、SDGは特定のゴールの達成を目的に実施した取組みであっても副次的に他のゴールでも効果を上げることができる場合があります。」	○	「*SDGsとは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した2030年までに達成を目指す17のゴールと169のターゲットです。」
No 30	なぜごみを減らすの？地球環境を守るを、もう少し具体的に表現できるといい。自然災害を減らすなどのワードが入った方がやる気になるのでは？	○	下記のとおり、追記します。 「地球環境(豪雨・洪水などの自然災害の抑制)を守る・・・」
No 31	長ネギは越谷市の名産品、特産品なのですか？深谷ねぎは有名だが・・・売り込み方が足りないのでは？	—	越谷ネギが特産品としてありますが、本計画ではネギの売込みは想定しておりません。意見として頂戴しておきます。

その他

No 32	青い囲みの表題に本編のページを追加した方がいいと思います。	○	表題に本編のページを追加します。
No 33	<p>目標の数値の整合性は取れているのでしょうか？整合性が取れているならばOK.確認です。</p> <p>一人一日排出量の中には、家庭系ごみ排出量も、事業系ごみ排出量、資源化される量も含まれています。家庭から排出される食口スは家庭系ごみの中に含まれています。</p> <p>事業系ごみは総排出量で記されているので、計算したら合っているのかもしれませんが、ぱっと見、16%、20%、一人一日の排出量はもう少し下がるのでは……。</p> <p>また、最終処分量も計算上は妥当な値なのでしょうか？一人一日排出量が690g、その中で焼却処理される割合が0%で、残渣はおよそ10%ぐらい。セメントに入れるのが◎◎◎トンだから……。</p>	—	<p>目標の数値に関しては、現状のまま推移した(新たな施策等による減量を見込まない)場合のごみ排出量の推計結果及び施策効果を反映した場合の推計をし、施策効果を反映した場合の推計値以上の減量を目指し、設定しました。</p>
No 34	<p>“事業系ごみは集積所には出してはいけません！”当然のことではあるが……。</p> <p>方針1 市民・事業者との協働による資源循環の推進…ならば、効率を考え、(方針3)新たなごみ収集・処理システムの構築、将来を見据えた場合、連携することも大切なのでは？ “市民や事業者の協力のもと、地域と連携したごみ集積所の管理”と書いているのではないか！どちらが本心なのか……苦言です。</p>	○	<p>(方針3)で「市民や事業者の協力のもと、地域と連携したごみ集積所の管理」とあるのは、ごみ集積所の設置に関しては、管理会社等との事前協議が必要となるケースもありますので、このような事業者と連携した集積所の管理などを想定しております。</p> <p>また、最近、市内企業の協力により、ごみ集積所に折り畳み式の防鳥ネットを設置する事例があります。このような事例を参考に今後は、市としても企業の協力を仰ぎながら、防鳥ネットの利用状況や効果を検証する中で導入推進の検討をしていきたいと考えています。</p> <p>しかし、概要版では、そこまで触れておりませんので、指摘のあった文章は</p>
No 35	<p>分かりやすい修正案です。</p> <p>市民、事業者、行政の協働で目標を達成するために一人一人が意識を持って行動していきたいと思います。</p>	—	—
No 36	<p>欲を言えば、表紙の写真は何の写真かわかりにくいので、もう少し工夫できれば良いかと思います。</p>	○	<p>わかりやすいように修正いたします。</p>